

## 特集

### 「ことわざから学ぶ仕事における心構え (その15)」

本誌では今、「ことわざから学ぶ仕事における心構え」を特集しています。  
私自身の経験や、コンサルティングを通して見たことを踏まえて、「こんなことが大事では…」と思われることをまとめたものです。  
いよいよ大詰め。  
今回は、「ゆ」のことわざから続けます。

### ゆ：「湯を沸かして水にする (ゆをわかしてみずにする)」

#### <意味>

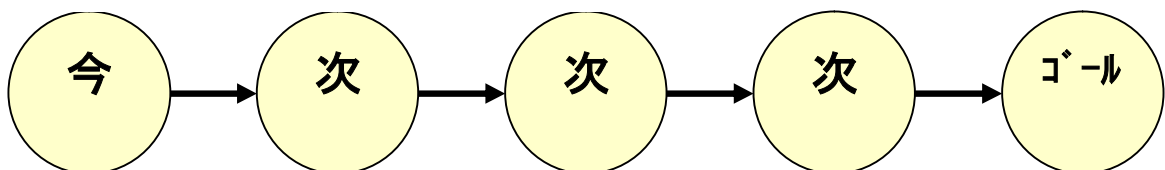
せっかく湯を沸かしたのに、何にも使わず元の水に戻してしまう。  
せっかくの苦労や努力を無駄にしてしまうたとえ。

- 既存ユーザーを100件訪問して状況を調査したけれど、結局、それっきりで、何の提案もしていない…
- 展示会で何百枚もの名刺をもらったけれど、その後のフォローは全くなし…

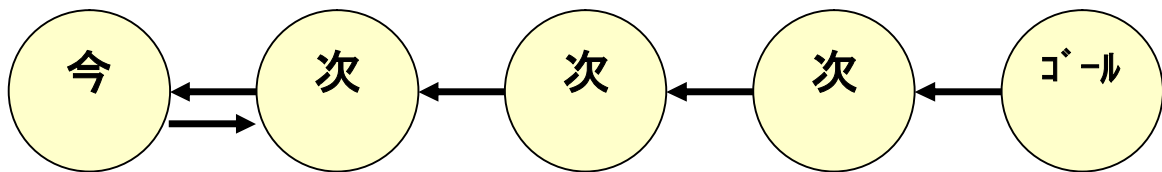
よくあるケースです。  
まさに、今回のことわざ通り。  
せっかくの苦労が水の泡です。

プライベートでも、仕事でも、物事の進め方には、以下の2つのタイプがあります。

### タイプ1： 次、次、次と一歩ずつ前に進むタイプ



## タイプ2： ゴールから逆算して「次」を行うタイプ



### 突然ですが・・・

お腹がすいている時に、買い物に行くと、買い過ぎることはありませんか？  
私は、昔、ひとり暮らしをしていた時、そんな経験が何度もありました。

休みの日、暇を持て余して家でゴロゴロ。  
お腹が空いたので料理をつくろうと思ったけれども、冷蔵庫の中はスッカラカン。  
近くのスーパーに買い物に行きます。  
空腹時は、何を見ても美味しそうに見えるもの。  
「これも買おう、あれも買おう」とドンドン買い物かごに入れて進みます。  
そして、最後は弁当売り場。  
空腹感はピークです。  
食材をたくさん買ったのに、さらに弁当まで買って帰る始末。  
家に着いたら、料理をつくる気持ちはすっ飛んで、買ってきた弁当を食べて終了。  
食材は、そのまま放ったらかしです。

1週間後、また暇になる私。  
今日は、彼女が来るから、ちょっと何か作ろうか・・・  
「男の料理」なんて雑誌をチラチラ見ながら、作れそうな料理を探します。  
「よし、これにしよう！」と決めたものの、先週買ってきた食材では足りません。  
せっかく買ってきたのに、すでに腐ってしまったものもあります。  
仕方なしにまた、買い物に出かけます。  
まさに、時間とお金の無駄遣いです。

お腹が空いたから買い物に行き、帰ってきたら、その後に料理を考え、作って食べる・・・  
こうした私のやり方は、まさにタイプ1の典型です。  
次、次と一歩ずつ前に進むことは、一見、確実性が高いような気がしますが、時間やお金の無駄遣いにつながりやすいのです。

### 一方・・・

「料理の鉄人」というテレビ番組を憶えていますか？  
1時間という短時間に、見事な料理を作り上げます。  
なぜ、あんなことができるのか？  
確かに料理の技術は、すばらしく高いです。  
しかし、それだけが理由なのでしょうか？  
もうひとつの理由が、今回のテーマである「仕事の進め方」です。

鉄人は、テーマを与えられたら、まずは1時間後に「どのような料理を、どれくらい作るか」を考えます。  
そして次に、40分後、20分後といったように考えていき、そのために必要な食材を集めて、下ごしらいに入ります。  
結果として、時間の無駄も、食材の無駄もありませんし、できた料理が冷めてしまうこともありません。  
これは、まさに、ゴールからの「逆算」的な進め方。  
タイプ2の典型です。

## 自分の「口ぐせ」を思い出してみよう！

上記の通り、タイプ1とタイプ2では、「効率」という点で、全く差がでてくるのです。  
さて、皆さんは、自分がどちらのタイプであるか、お分かりですか？  
実は、その人の「口ぐせ」で、どちらのタイプであるか判断できるのです。

タイプ1の人の口ぐせは、「**とりあえず**」です。  
皆さんは、「とりあえず」という言葉を、どこで一番、使いますか？  
たぶん、アフターファイブでの居酒屋でしょう。  
「とりあえずビール」  
まさに、定番的な言葉です。

それでは、なぜ、皆「とりあえず」というのでしょうか？  
それは、何も先を考えていないから。  
とりあえず、ビールで喉をうるおしながら、次につまみとして何を注文するかを考えるのです。

一方、今日は、奥さんとの結婚記念日。  
2人でフランス料理を食べにきました。  
これからコースがでてくるので、当然、ドリンクはワイン。  
ただし、喉が渴いているのでビールを飲みたい・・・  
さて、何と言ってオーダーしますか？  
「とりあえずビールではなく」、「まずはビール」と言うのではないですか？  
この「**まずは**」という言葉が、タイプ2の人の口ぐせ。  
先が見えている時に使う言葉です。

私は、コンサルティングのプロジェクトでは、お客様に「**とりあえず禁止令**」を出します。  
「『とりあえず』と言ったら、100円罰金！！ 『まずは』と言おう！」  
なんてことを言って、貯金箱を置いてきたりします。  
狙いは「逆算での仕事の仕方」を意識してもらいたいから。  
「まずは」という言葉を使うためには、先を考えざるを得ませんから。

「理屈では分かったけれど、なかなか難しい…」  
そんな声が聞こえてきそうですね。  
確かに「ゴールから逆算する『シナリオづくり』は、簡単なことではありません。  
苦手な人は、まずは、「次の次」を考えてみましょう。  
「既存ユーザーの状況を確認したら、次は何をするのか？」  
「展示会を行った後に何をするのか？」

そういうことを予めイメージしておけば、少なくとも、「やりっ放し」にはならないはずです。そして、「次の次」が考えられるようになったら、「次の次の次」を考えてみる。これが「シナリオ作り」の最も有効な訓練なのです。

## よ：「良いうちから養生（よいうちからようじょう）」

<意味>

体は丈夫なうちからいたわるのが最高の健康法であるということ。  
ふだんから用心しておけば、よい結果が得られることのたとえ。

- $\gamma$  G T P の数値を下げるために、せつせと禁酒にはげむ人。
  - 減量のために、1週間の緊急ダイエットに取り組む人。
- 健康診断が近づいてくると、おもしろい人間模様が見られます。

そもそも、健康診断って何のためにあるのでしょうか？

「『悪いところ』が無いかどうかをチェックするため」

多くの人は、そのように答えるでしょう。

確かに、「悪いところ」を早期に発見し、手遅れになる前に処置することは、大事なことです。

しかし、本当にそれだけでしょうか？

今回のことわざの通り、最大の健康法は、病気にならないように、普段から用心することです。

例えば、運動にしても、「減量のための運動」と「体重を維持するための運動」では、どちらが楽しいか？

当然、後者ですよ。

食事制限でも同じこと。

減量するには、ほんの少しの食事で空腹をガマンしなければなりません、単に体重を維持するだけだったら、「腹八分」を実践すればOKです。

こうしたことは、仕事でも、当てはまることが多いです。

例えば、アフターサービス。

私のお客様の機械メーカーでは、近年、ユーザーに対する「予防保全」に注力しています。

定期的にユーザーを巡回し、機械の状況をチェックするとともに、必要に応じてメンテナンスを提案します。

お客様としては、急に機械が故障して、生産が止まってしまったら大変な問題。

計画的にメンテナンスの方が、多少のコストがかかっても得策です。

また、メーカーとしても、お客様の信頼を向上させるだけでなく、メンテナンス収入の増加も期待できます。

一般営業でも、いったん関係が悪化してしまった時の修復よりも、関係維持の方が全然楽ですよ。

確かに、人間は「何か事が起った時に初めて動きたくなる」もの。

私自身も、そういう面が強いです。

これまでの人生の中で、何度減量を行ったか！

痩せては太り、太っては痩せ・・・

「わかつちやるけれどね・・・」

そんな声が聞こえてきますが、少しずつ、お互い努力して行きましょう。

<次回に続く>